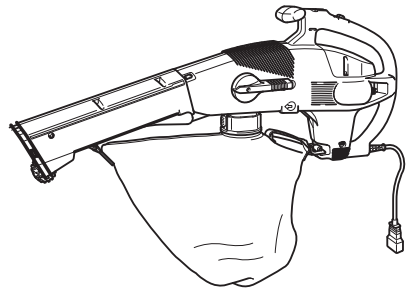


# Makita

## 取扱説明書

## ブロワ/集じん機 ☐ モデル MUB0710



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。  
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはブロワ/集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。  
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。  
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ ブロワ／集じん機安全上のご注意	7
・ 各部の名称および標準付属品	9
・ 別販売品のご紹介	10
・ 使い方	11
・ ブロワ（吹き飛ばし）作業	11
・ ノズルの接続	11
・ 肩掛けバンドの取り付け方	11
・ 集じん（吸い込み）作業	12
・ ダストバッグの取り付け方	12
・ つなぎコードの接続	12
・ ブロワ（吹き飛ばし）／集じん（吸い込み）の切り替え操作	13
・ スイッチ・スピード調整ダイヤルの操作	14
・ 作業方法	15
・ ブロワ作業方法	16
・ 集じん作業方法	17
・ 別販売品の使い方	18
・ ワイドノズルの取り付け方	18
・ 保守・点検について	19
・ ゴミが詰まったときは	19
・ お手入れは	20
・ カーボンブラシの点検	20
・ カーボンブラシの交換	21
・ 保管	21
・ ご修理の際は	21
・ ブロワ／集じん機 保証書	24

# 主要機能

主要機能		モデル	MUB0710
電動機			直巻整流子電動機
電圧			単相交流 100 V
電流			12 A
周波数			50-60Hz
消費電力			1,100 W
ブロワ	最大風量		8.6 m <sup>3</sup> /min(m <sup>3</sup> /分)
	最大風速		70m/s (m/秒)
集じん機	最大風量		10m <sup>3</sup> /min(m <sup>3</sup> /分)
	集じん容量		25L
	最大真空度		4kPa(410mm 水柱)
本機寸法			長さ 1,060 mm × 幅 210 mm × 高さ 410 mm
質量			4.5 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**⚠ 警告**

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠ 注意**

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。なお **⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注**

: 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

JPA001-18

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## ⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

## ⚠ 警告

10. 防音用保護具を着用してください。
  - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。
13. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
  - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・ 使用しない、または修理する場合。
  - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - ・ その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
  - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
  - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

## ⚠ 警告

### 21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ピリピリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

### 22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

### 23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## ●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

# ブロワ／集じん機安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ブロワ／集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB087-2

## ⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 本機を雨中や湿気のあるところで使用したり、放置しないでください。また、水や湿ったゴミなどを吸い込ませないでください。
  - ・ 感電や故障の原因になります。
3. 使用する前にならず周囲に人がいないことを確認してください。
  - ・ 事故のおそれがあります。
4. ガソリン、ガス、塗料、接着剤などの引火性のある危険物の近くでは、使用しないでください。また、それらを吸い込ませないでください。
  - ・ 引火または爆発の原因になります。
5. 火のついたタバコ、マッチなどを吸い込ませないでください。
  - ・ 火災の原因になります。
6. 使用中は、本機を確実に保持してください。
  - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
7. 使用中にノズルの先端を人に向けしないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
8. 本機の吸込口(送風口)や排出口には手を入れないようにしてください。
  - ・ けがの原因になります。
9. 作業中は保護メガネを着用してください。また必ず長靴や長ズボンをはいて作業してください。
  - ・ 小石などが飛び散ったときなど、けがの原因になります。
10. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 運転させたまま、放置しないでください。
  - ・ けがの原因になります。
3. 吸込口（送風口）や排出口をふさいで運転しないでください。
  - ・ けがやモータの発熱などによる破損の原因になります。
4. 作業前に大きな木片、金属、ガラス、石などの異物を取り除いてください。
  - ・ ファンなど破損の原因になります。
5. 集じん作業前に必ずダストバッグが本機に取り付けられていることを確認してください。
  - ・ けがの原因になります。

## 注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

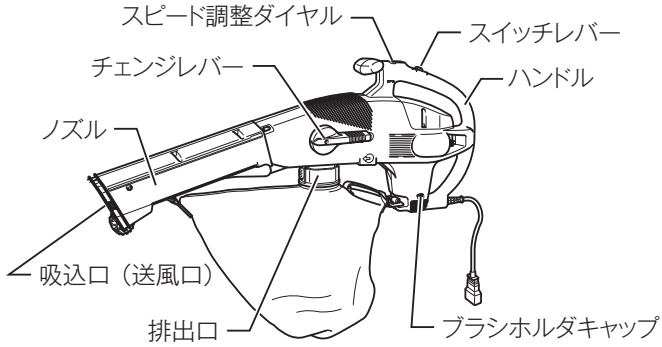
コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 7A	—
0.75mm <sup>2</sup>	20m	10m	—

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
1.25mm <sup>2</sup>	30m	15m	10m
2.0mm <sup>2</sup>	50m	30m	20m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。



# 各部の名称および標準付属品



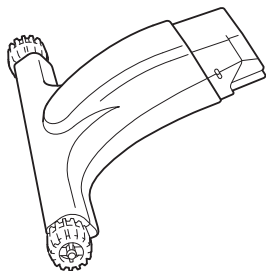
## 標準付属品

- ・ つなぎコード (10m)  
部品番号：661921-7
- ・ 肩掛けバンド  
部品番号：166059-8
- ・ ダストバッグ  
部品番号：141730-5

## 別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

- ・ ワイドノズル  
部品番号：A-53908



# 使い方

本機はブロウ（吹き飛ばし）作業、あるいは集じん（吸い込み）作業の2通りの作業を行うことができます。

## ⚠ 警告

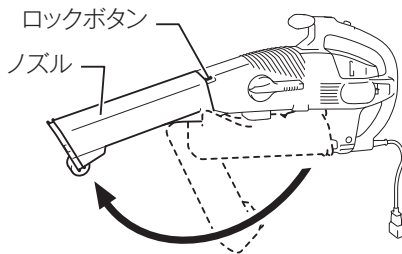
付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

## ブロウ（吹き飛ばし）作業

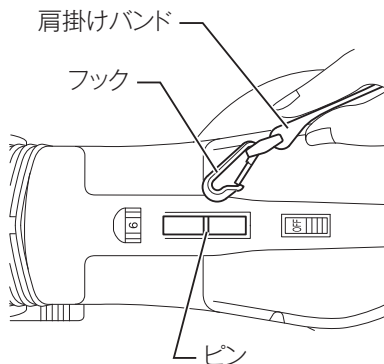
### ノズルの接続

- ・ ノズルはコンパクトに収納できる様、折りたたみ式になっています。使用するときは、折りたたまれたノズルをいっぱいまで開いてのばし、本機の接続部に確実に固定してください。
- ・ 収納するときは、左右のロックボタンを押して元の位置に折りたたんでください。



### 肩掛けバンドの取り付け方

- ・ 肩掛けバンドのフックを、本機ハンドル上部の取り付けピンに引っ掛けて確実に取り付けてください。
- ・ 肩掛けバンドの長さは調節できますので、使いやすい長さに調整してご使用ください。



# 使い方

## 集じん（吸い込み）作業

集じん作業時にはさらにダストバッグを取り付けてください。

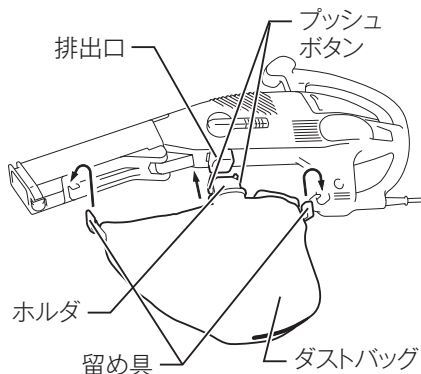
## ダストバッグの取り付け方

### ⚠ 注意

集じん作業前に必ずダストバッグが本機に取り付けられていることを確認してください。

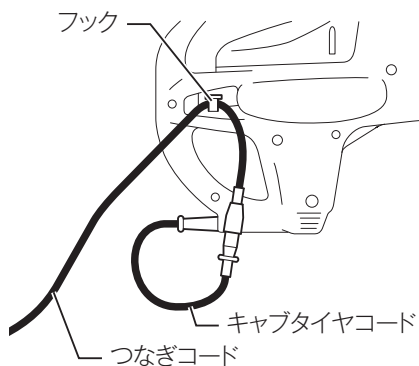
・ けがの原因になります。

- ・ ダストバッグのホルダ部分を本機の排出口に確実に差し込んで取り付けてください。
- ・ 次にダストバッグの留め具（2ヶ）を、それぞれ本機前後のフックに取り付けて固定してください。
- ・ 取りはずすときは、本機より留め具をはずし、ホルダ左右のプッシュボタンを押して引き抜いてください。



## つなぎコードの接続

- ・ つなぎコードを接続するときは、キャブタイヤコードのプラグと、つなぎコードのコードコネクタが使用中はずれないように本機のフックにかけてください。



# 使い方

## ブロワ（吹き飛ばし）／集じん（吸い込み）の切り替え操作

### ⚠ 注意

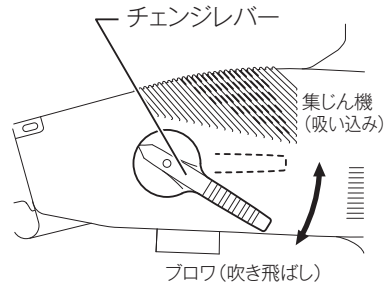
チェンジレバーは集じんでの位置、もしくはブロワでの位置でのみ使用し、中間の状態で使用しないでください。

- ・ 故障の原因となります。

作業中にチェンジレバーの操作は行わないでください。集じんとブロワの切り替えは必ずスイッチを切ってから行ってください。

- ・ 故障の原因となります。

- ・ 本機はチェンジレバーの操作により簡単にブロワと集じんの切り替えができます。
- ・ 集じん機（吸い込み）としてお使いになる場合は、チェンジレバーを上へ引き上げます。
- ・ ブロワ（吹き飛ばし）としてお使いになる場合は、チェンジレバーを下へ押し下げます。



### 注

- ・ 砂などの粉じんを多量に吸い込みますと、切り替え部の隙間に侵入し、一時的にチェンジレバーの切り替えが重くなる場合があります。この様な場合には、スイッチを切った状態で、2～3回チェンジレバーを操作し、隙間に侵入した粉じんを払い落としてください。

# 使い方

## スイッチ・スピード調整ダイヤルの操作

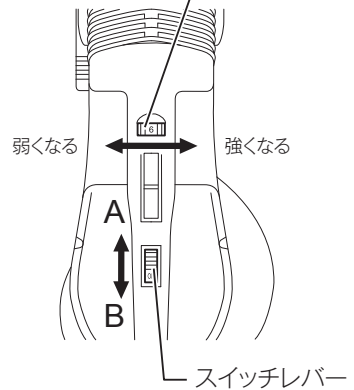
### ⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

- ・ スイッチレバーをA側（ON）にスライドさせると運転し、B側（OFF）にスライドさせると停止します。
- ・ スピード調整ダイヤルを操作することにより、風速・風量が無段階に調節することが出来ます。
- ・ スピード調整ダイヤルを右に回すと風速が強くなり風量が増し、左に回すと風速が弱くなり風量が減ります。

スピード調整ダイヤル



# 使い方

## 作業方法

### ⚠ 警告

作業中は保護メガネを着用してください。また必ず長靴や長ズボンをはいて作業してください。

- ・ 小石などが飛び散ったとき、けがの原因になります。

大きな木片・金属・ガラス・小石等の異物、液体、火のついたタバコ等は吸い込ませないでください。

- ・ 感電・火災・けがの原因になります。

本機の吸込口（送風口）や排出口には手を入れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

作業中はノズルの先端を人に向けないでください。

- ・ 事故のおそれがあります。

作業中、ファンに枝、ひもなどがからむなどゴミが詰まった場合には、直ちにスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてから、ファンカバーをはずし、ゴミを取り除いてください。

- ・ けがの原因になります。

### ⚠ 注意

集じん作業前に必ずダストバッグが本機に取り付けられていることを確認してください。

- ・ けがの原因になります。

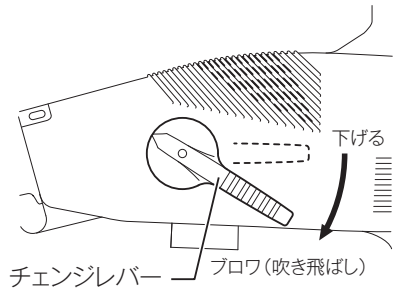
枝や長いひも等ファンにからまりやすい物は、吸い込ませないでください。

- ・ 故障の原因となります。

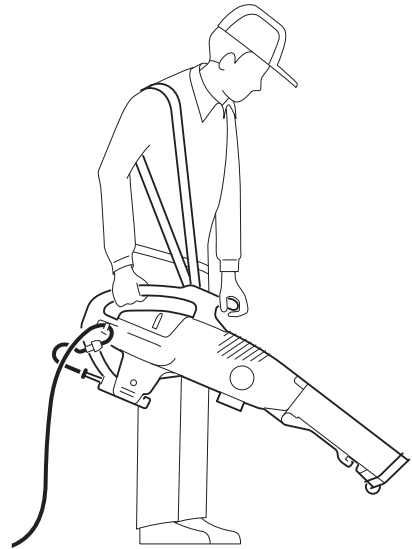
# 使い方

## ブロワ作業方法

- ・ 肩掛けバンドを肩に掛け作業がしやすい位置にベルトの長さを調整してください。
- ・ チェンジレバーをいっぱいまで押し下げ、確実にブロワに切り替えてからスイッチを入れてください。



- ・ 本機を両手で確実に保持し、ゆっくりと動かしながらブロワ作業を行ってください。
- ・ 建造物や大きな石、車などの周辺で作業する場合は外側に向かって作業してください。
- ・ コーナーの作業はコーナーから始めて徐々に広い方へ移動して作業してください。

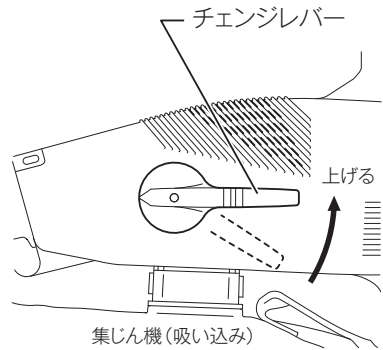




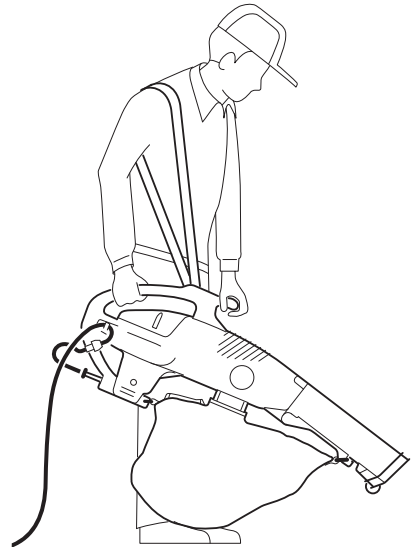
# 使い方

## 集じん作業方法

- ・ ダストバッグを本機に確実に取り付けてください。また、ダストバッグのジッパが閉まっていることを確認してください。
- ・ 肩掛けバンドを肩に掛け、作業がしやすい位置にベルトの長さを調整してください。
- ・ チェンジレバーをいっぱいまで引き上げ、確実に集じんに切り替えてからスイッチを入れてください。



- ・ 本機を前後にゆっくり動かして集じんしてください。
- ・ 作業後は、ダストバッグにたまったゴミを捨ててください。



## 注

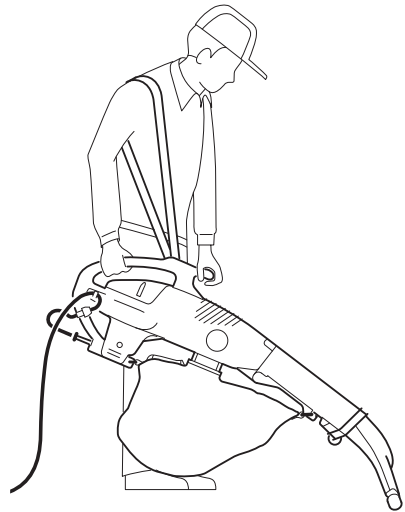
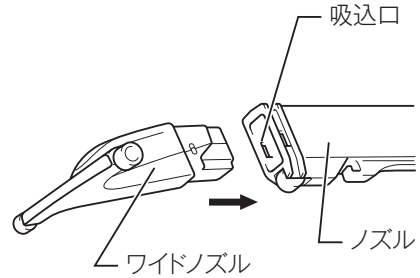
ダストバッグにたまったゴミはこまめに捨ててください。その際、内側のほこりをよくふりはらって取り除いてください。

- ・ 吸引力が弱まり、効率が悪くなります。

## 別販売品の使い方

### ワイドノズルの取り付け方

- ・ワイドノズルはノズルの吸込口に差し込むことで簡単に取り付けることができます。
- ・ワイドノズルを用いることにより、床等での集じん作業を効率よく行うことができます。



### 注

- ・ワイドノズルは、集じん作業専用のアタッチメントで、ブロワ作業時には使用できません。

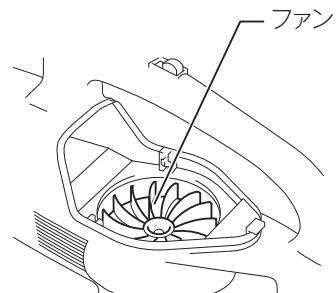
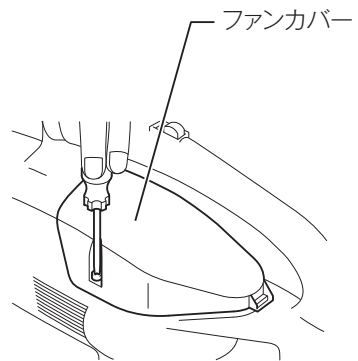
## ⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

### ゴミが詰まったときは

- ・ スイッチを切って、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ ファンカバーの2本の止めネジを⊕ドライバーで取りはずしてください。
- ・ ファンカバー内などにたまっているゴミをこまめにとり除いてください。
- ・ その際、ファンがスムーズに回転するか、破損していないか調べてください。ゴミをとり除いた後でもスムーズに回転しなかったり、破損している場合は使用を中止し、お買い上げの販売店または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 点検後は、ファンカバーを元の状態に確実に取り付けてください。



## 保守・点検について

### お手入れは

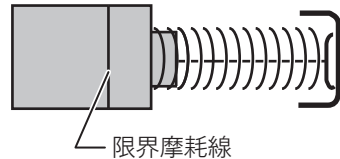
- ・ 使用後は、風窓やノズル、ファンカバー内のちり等を取り除き、乾いた布か石けん水を少量しみ込ませて本機の汚れをきれいにふきとってください。また、ファンはスムーズに回転するか、破損していないか常に点検してください。
- ・ ダストバッグは時々石けん水でもみ洗いをし、よく乾燥させてからご使用ください。

### 注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

### カーボンブラシの点検

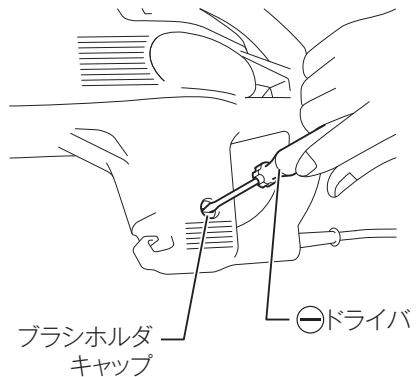
- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



## 保守・点検について

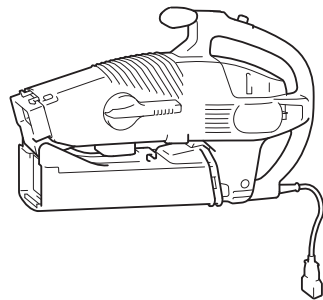
### カーボンブラシの交換

- ・ ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
- ・ カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。



### 保管

- ・ ノズルを折り畳むことにより、コンパクトに収納することができます。
- ・ 高温にならない乾燥した場所で、お子さまの手の届かないところに大切に保管してください。



### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。





株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

882639A9

IWT